

リンドウの病害虫の発生状況（8月中下旬） ※例年…2015～2023年の9年間平均

1 葉枯病

巡回調査における発生ほ場割合は、例年並でした（図1）。まん延すると防除が困難になるので、防除を徹底してください。多湿条件が続くと発病しやすくなるので、予防散布を心がけてください。

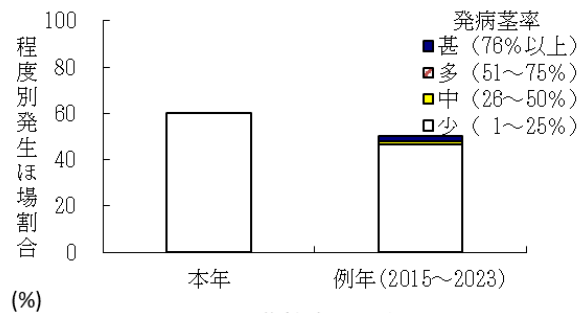


図1 葉枯病の発生状況

2 褐斑病

巡回調査における発生ほ場割合は、例年より高い状況でした（図2）。高温多湿で発生が助長され、高温日照不足の天候が続くと上位葉への進展が早まる可能性があります。病徴を確認してからの薬剤防除では効果が期待できないため、発病前からの予防散布を心がけてください。

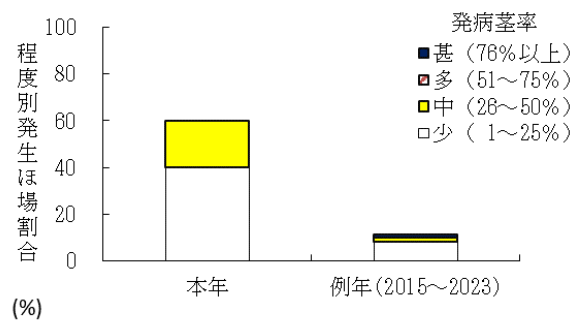


図2 褐斑病の発生状況

3 黒斑病

巡回調査における発生ほ場割合は、例年よりやや低い状況でした（図3）。本病の病斑は、葉枯病や褐斑病、灰色かび病と似ているので注意が必要です。高温多湿条件で発生が助長され、高温日照不足の天候が続くと上位葉への進展が早まる可能性があります。ほ場をよく観察し、予防散布を心掛けてください。

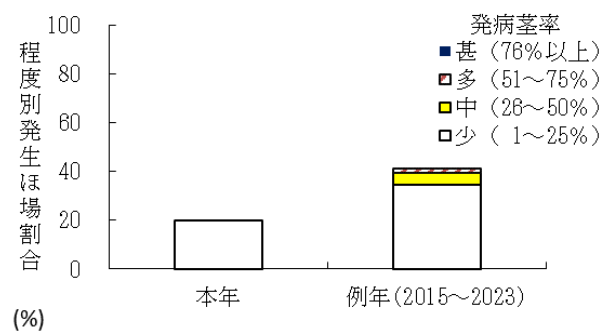


図3 黒斑病の発生状況

4 ハダニ類

巡回調査における発生ほ場割合は、例年並でした（図4）。主な寄生種は、ナミハダニとカンザワハダニでした。ほ場をよく確認し、低密度時から防除を徹底してください。

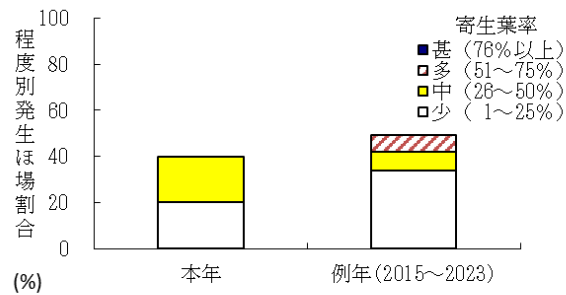


図4 ハダニ類の発生状況

5 リンドウホソハマキ

巡回調査における発生ほ場割合は、例年並でした（図5）。巡回調査では、幼虫による芯折れ症状の被害を確認しております。ほ場をよく観察して速やかに防除を実施してください。

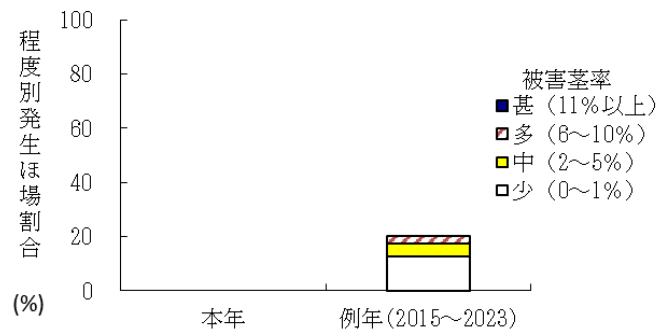
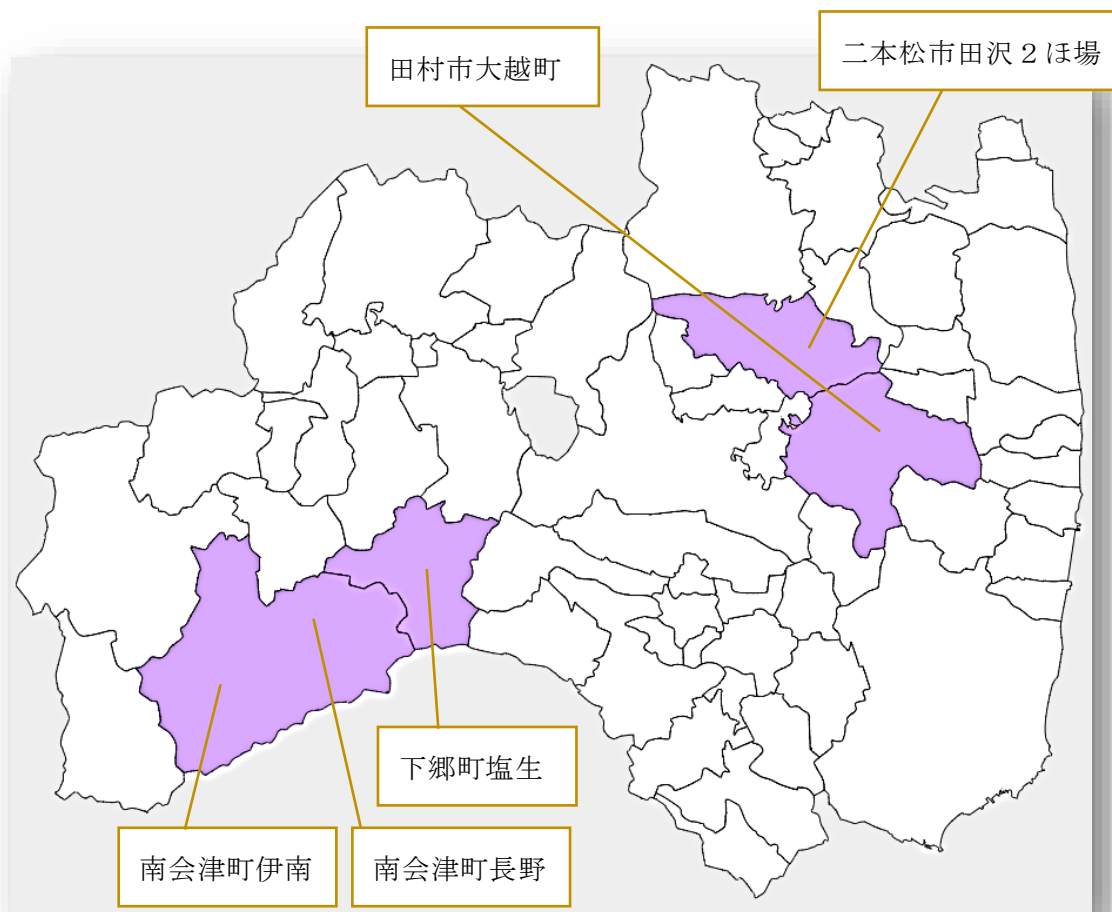


図5 リンドウホソハマキの発生状況

※ リンドウの巡回調査では、下記の6ほ場を調査しております。



● 情報内容への質問や要望は、福島県病害虫防除所まで御連絡ください。

Tel:024-958-1709 Fax:024-958-1727 e-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jp